

1	フリーのGmailでのメール送信ができなくなってから、メール通知につまづいたままです。	フリーのGmailアカウントでもGoogleWorkspaceアカウントと同様に「20_メール関連」のGmail受信ライブラリやGmail送信ライブラリを使ってメールの送受信が可能です。WinActorでの設定手順は同梱の「Gmail送受信シナリオ作成マニュアル」をご参照ください。サインインのための認証情報(クライアントID、クライアントシークレット)を取得するため、Google Cloud Platformで実施しなければならない作業が非常に複雑ですが、セキュリティ上必要な手順ですので、ご容赦いただければと思います。
2	WebDriverと拡張機能で設定方法(ブラウザ起動～)変わりますか？	WebDriverと拡張機能でシナリオ内のノードの設定方法は変わりません。オプション画面の「ブラウザ」タブからどちらを利用するか設定すれば切り替え可能です。ただ、拡張機能では一部のブラウザ操作ライブラリが利用できない等の制約があります。詳細は以下で公開していますリリースノートのp.7「起動済みブラウザに対する操作(3/3)」をご参照ください。 https://winactor.biz/docs/WinActor_Ver740_releasenote.pdf
3	結構な頻度で構造が変わっちゃうwebページなんだけど、何とかして苦しんだりメンテ工数掛けるくらいならいっそのことその業務はWinActorでは対象にしない。これも正解ですよ？	WinActorでブラウザ操作する際にも「23_ブラウザ関連」ライブラリや画像マッチング系のライブラリ、エミュレーションノードなど複数の選択肢があります。ご指摘通り、WinActorのノードやライブラリにこだわらず、手動操作を組み合わせると半自動化したり、外部ツールを利用したり、といった方針もあります。できるだけ幅広く自動化をカバーしたいと考えていますので、シナリオ化しづらい場面がありましたらぜひご相談ください。
4	XPathがちゃんと正しいか確認(テスト)するのに、WinActorからだだとブラウザ起動からしないといけないので、ExcelVBAでXPathの操作ができるように使っています。他に、どんなテスト方法があるでしょうか？ 自分の書いたXPathがきちんと指し示しているか、簡単に確認できる手段はぜひ紹介してほしいですね(※私が実践している方法は開発者ツールのコンソールで\$X('～')を活用しています)	XPathの確認をする際はブラウザの開発者ツールの利用が便利です。質問に記載いただいている通り、開発者ツール上のコンソール(Console)タブで\$X('<XPath>')を利用して結果が取得できるかで正しさを確認できます。また、同じくブラウザの開発者ツール上の要素(Elements)タブでCtrl+Fキーを押すと検索機能が使えるようになり、ここにXPathを入力することでXPathの正しさやヒット件数を確認できます。WinActorから確認する際は、シナリオ全体を実行しながらの確認は時間が掛かりますので、XPathを設定した「クリック」ライブラリを右クリックから部分実行する等で局所的に動作確認していただくと便利です。
5	弊社が未だにIEにしがみついております、一応別ブラウザ対応にする予定ではあるものの目的が全く立っていないので、いずれシステムが変わった時に今動いているシナリオの数々のIE操作→ブラウザ操作の置き換えが果たして間に合うのか、今から胃が痛いですが…	Microsoft社のIEサポート終了に際して、公式サイトで特集ページを用意しております。 https://winactor.biz/use/internet_explorer_support.html ※winactor.bizのTOPページから[WinActorを使う]→[特設コンテンツ]→[Internet Explorerサポート終了に向けたWinActorの対応]の順にクリックすることでもアクセスできます。上記特集ページに色々な資料をご用意しています。ライブラリ置き換えの観点では、ページ下部の「IE操作ライブラリをブラウザ操作ライブラリに置き換える例」にありますIE操作ライブラリ置き換えマニュアルやライブラリ対比表が便利ですぜひご利用ください。

ご質問・ご要望

講演内容、弊社情報提供へのご質問（今回登壇させていただいたプロモーション担当興松から回答

<p>今日の内容をすべて理解できないと「XPath入門」卒業できないですか？ 入門にしては内容が多かった気がします。。。 また、次のステップとしては、どのようなものがありますか？ チラ見せして頂けると嬉しいです。</p>	<p>今回は入門編から基礎(開発者ツール、フレーム対策)、応用の入り口までお話ししました。 まずは基礎まででもブラウザ操作シナリオが格段に作りやすくなりますのでお試しください。</p>
<p>今日は入門でしたが、レベルはどこまである感じですか？ 入門、基礎、応用、発展、、、それぞれのレベル内容をチラ見せして頂けると嬉しいです。</p>	<p>応用から急に構文、関数、属性など英語(HTML)が頻出して私も怖気づきましたが 開発者ツールなりブラウザ関連ライブラリが自動取得した「基本的な構文で書かれた値」を参考に 関数や条件指定を適応すれば良いので練習問題のレベルまではすぐ到達出来ます。</p>
<p>XPathチートシートに出てくる構文、軸、ノードテスト、 関数を網羅したサンプルシナリオをリリースしてほしい。 それぞれを使うのに適した1HTMLファイル付きで。</p>	<p>応用・発展については、 ・今回3つづつしかご紹介していない関数、条件指定がもっと大量にある（数十種？） ・idとnameしかご紹介していない属性も大量にある 更に組合せパターンは膨大になりますが必要なものから1つづつ使えばよいと思います。</p>
<p>WA6からWA7への社内の移行セミナーしたときは開発者ツールまでの説明しかなくて、 開発経験がないメンバーがとても苦労していたので、ここから先の話に期待です</p>	<p>弊社WEBサイトでもこれらの例と教材を今後も提供していくよう調整しております。 その他コンテンツも併せぜひご参照ください。今回はありがとうございました</p>